

令和元年度 施策評価シート

基本目標	IV	安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	440	障害者が地域のなかで輝いて生きるしくみをつくる
施策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する
施策の目標	障害のある人がそれぞれの希望に沿って社会に参加し、社会の一員としての役割を担い、働きがいや生きがいを感じながら、楽しくいきいきと日常生活を送っています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	福祉施設から一般就労への移行者数									
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	22	32	32	32	36	36	36	36	36	37
実績	24	27	24							
指標名	すみだ障害者就労支援総合センター・就労支援登録者の離職者数									
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	29	29	28	28	27	27	26	26	25	25
実績	39	30	32							

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
指標に対する実績値は目標に近づきつつあるが、障害者雇用促進法の改正による障害者雇用率の引き上げが図られている一方で、個別の障害における社会との障壁など、残念ながらまだまだ存在している状況はある。引き続き、区民等に向けて障害への理解促進や障害者への差別解消などを図っていく必要がある。	H28	351,330
	H29	768,692
	H30	553,214

x

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	施策目標について、事務事業間の連携・組織内の調整を通じ、一定の達成度に到達していると考える。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
障害者総合支援法及び障害者差別解消法をはじめとし、障害の有無にかかわらず、誰もが地域の中で活き活きと輝いて生きる共生社会の重要性が謳われており、引き続き、障害者の社会参加を支援し、生きがい創出に取り組む。	
【今後の具体的な方針】	
障害者基本法の理念に則り、障害者総合支援法、障害者差別解消法等関連法に基づき施策の遂行を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、ノーマライゼーションの考え方が一層進むよう取組を進める。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	すみだ障害者就労支援総合センター事業	101,534	196,869	298,403	一般就労を推進し、経済的・社会的自立に繋げる。	28	現状維持
						32	平成30年度
2	すみだふれあいセンター福祉作業所事業	53,354	167,339	220,693	一般就労が困難な障害者に、就労の機会を提供すると共に、生産活動等の活動機会の提供を通じ、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、利用者の社会参加を支援する。	12,600	現状維持
						11,693	平成30年度
3	障害者就労支援事業	15,400	2,953	18,353	公園清掃等業務を障害者団体に委託することによって、福祉的就労の場の拡充と工賃の向上を図り、社会参加の場の拡充を図る。	42	現状維持
						39	平成30年度
4	亀沢のぞみの家通所訓練所補助事業	41,522	157,495	199,017	人件費等や利用者の昼食費の一部を補助することにより支援体制を強化し、福祉の向上を図る。	25	現状維持
						18	平成30年度
5	亀沢のぞみの家管理運営事業	7,502	1,969	9,471	区内に居住する心身障害者の通所訓練施設として、その維持管理を行うとで自立した生活を支援する。	25	現状維持
						18	平成30年度
6	重度肢体不自由児(者)生活介護事業所運営補助事業	94,719	984	95,703	生活介護施設を整備することにより、障害者の日中活動の場を確保する。	5	現状維持
						4	平成30年度
7	障害者福祉喫茶の運営費補助	5,189	1,969	7,158	心身障害者が日常的に働くことのできる福祉喫茶事業の運営経費の一部補助を通じ、障害者の就労機会を確保することで自立促進を支援する。	5	現状維持
						3	平成30年度
8	すみだふれあい福祉作業所通所者送迎車借上事業	10,640	1,969	12,609	送迎車を運行することにより、単独通所困難者の利便を図り、単独通所への訓練の場を提供し、自立を支援する。	100	現状維持
						86.6	平成30年度
9	障害者虐待防止センター経費	2,073	2,953	5,026	被虐待障害者に対し相談・保護等の支援が行われ、障害者の権利利益、社会参加、生きがいの創出の養護がはかられている。	4	現状維持
						3	平成30年度
10	心身障害者の雇用拡大を図るための施設整備助成事業	0	984	984	障害のある方のための施設整備を行う事業者への経費助成により、雇用促進等を図り、自立を支援する。	1	改善・見直し
						0	平成30年度
11	作業所等経営ネットワーク支援事業	4,507	2,953	7,460	共同販売ネットワークを構築し、障害者の社会参加を支援している。スカイワゴンにより販路を確保して工賃を維持向上させ、自主生産を行い障害者の生きがい創出している。	5,605	改善・見直し
						5,551	平成30年度
12	障害者施設の新商品開発等支援事業	4,000	1,969	5,969	障害者の能力・適正に応じた自主生産品の製作を行い、工賃を維持向上させるとともに、障害者の生きがいと社会参加を創出している。素材の調達や製作、販売活動を通じて、地域の企業・住民の支援を受け相互の理解が深まっている。	2,500	改善・見直し
						4,237	平成30年度

13	心身障害者団体連合会補助事業	13,362	1,969	15,331	区内唯一の障害者団体の連合体である連合会の運営及び自主活動事業への補助を通じ、障害者福祉の向上を図る。	420	現状維持
						387	平成30年度
14	障害者差別解消法普及啓発事業	294	1,969	2,263	差別が解消されることで、障害者が社会と関わりやすくなり、人格と個性が尊重されることは障害者の生きがいを創出していくことにつながる。	4	現状維持
						4	平成30年度
15	すみだスマイル・フェスティバル事業	1,852	6,890	8,742	舞台への出演やコーナー運営への従事等を通じて、社会参加を促進し、生きがいがつくりにつながる。	1,000	現状維持
						1,200	平成30年度
16	墨田区障害者施策推進協議会事業	121	984	1,105	障害者行動計画について、区内の障害者団体の代表者等と交え、協議を行うことで、障害者の地域における社会参加を支援や、生きがいの創出につなげていくことができる。	132	現状維持
						143	平成30年度
17	障害者アート振興事業	4,000	591	4,591	文化・芸術活動の場＝自己表現の場を創出することにより、障害者の社会参加促進を図る。	300	現状維持
						517	平成30年度
18	障害者理解啓発事業(ふれあいバザー)	395	984	1,379	区民をはじめとする一般来場者に対し、障害者団体の活動についてアピールするとともに、障害者自身が従事することによって、社会参加の促進が図られる。	900	改善・見直し
						424	平成30年度
19	障害者余暇活動支援事業	1,094	984	2,078	障害者を対象とした余暇活動を実施する区内団体の活動が安定的に行われ、障害者の生きがいの創出につながる。	830	現状維持
						840	平成30年度
20	隅田川花火大会障害者特別観覧席開放事業	70	984	1,054	障害者が安全に観覧できる環境を用意し、区民行事への参加意欲を高める。	230	現状維持
						202	平成30年度
21	障害者福祉功労者等顕彰事業	0	1,969	1,969	式典で表彰されることで、更なる自立や障害者福祉向上、障害者雇用への意欲がさらに高まり、障害者の社会参加につながる。	1,050	改善・見直し
						0	平成30年度
22	墨田福祉作業所事業	29,586	32,483	62,069	一般就労が困難な障害者に、就労の機会を提供すると共に、生産活動等の活動機会の提供を通じ、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、利用者の社会参加を支援する。	15,880	廃止
						12,004	平成30年度
23	障害者就労継続支援事業所・施設整備支援事業	162,000	6,890	168,890	就労継続支援事業所を整備することにより、障害者の社会参加を支援する。	1	廃止
						1	平成30年度

令和元年度 事務事業評価シート

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位	
事 業 名	すみだ障害者就労支援総合センター事業					1	
目 的	障害のある方の一般就労を推進するため、専門的・多様な就労支援サービスを総合的に提供し、就労意欲に応えるとともに、経済的・社会的自立を促進する。					主管課・係（担当）	
						障害者福祉課	
						すみだ障害者就労支援総合センター 03-5600-2004	
対 象 者	企業就労を目指す障害のある方、障害のある方を雇用する又は雇用しようとする企業						
根拠法令 関連計画	障害者総合支援法、すみだ障害者就労支援総合センター条例・施行規則、総合相談室運営要綱、区市町村障害者就労支援事業実施要綱等						
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	正規3名、非常勤1名 委託先：NPO自立支援センターむく		
事業内容	総合相談室：・企業等での就労を希望する障害のある方や既に企業等で就労している障害のある方、家族、関係機関等からの相談に応じ、就職支援及び各種サービス利用支援等を行う。また障害者雇用を検討する企業や既に障害のある方を雇用する企業等からの相談に応じ、障害に関する事や障害者雇用制度について情報提供等を行う。 就労移行支援施設（法内）：就労を希望する障害のある方に対し、就労に必要な知識や技術等の習得のための訓練を実施する等、就労を実現するための支援を行う。 就労定着支援施設（法内）：就労系福祉サービスを経て就労した方に対し、企業訪問・面接等の支援を実施し、安定した就労の定着を実現するための支援を行う。 生活支援施設：企業等で就労する障害者が安心・安定して就労継続ができるように、職場定着支援や生活支援等に関係機関と連携して実施する。また、障害者を雇用する企業等に対して、ジョブコーチ支援等を実施する。						
経 過	開始年度	平成24年3月		終了予定			
	平成17年6月 東京都の包括補助事業「区市町村障害者就労支援事業実施要領」を基に、すみだふれあいセンター内に「すみだ障害者就労支援センター」開設 平成24年3月 すみだ障害者就労支援総合センター開所 新たに法内事業「就労移行支援施設」を開設 平成30年4月 新たに法内事業「就労定着支援施設」を開設						
議会質問 の 状 況	平成30年3定区民福祉委員会において ①墨田区の障害者雇用率について。 ②すみだ障害者就労支援総合センターが実施する、区内中小企業等への取組について。						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 他区の状況：区市町村障害者就労支援事業については23区全て実施している。 年間スケジュール：PRイベント、9月下旬に「障害者就労支援フェア」、11月上旬に「みどりピアまつり」実施						

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額（事業費）		110,988	110,738	104,111	99,953	102,526	106,181
決算額（31年度は見込み）		108,775	109,015	100,792	98,321	101,534	106,181
財 源	国						
	都	1,586	1,679	1,694	1,518	1,530	1,721
	その他	35,162	49,317	43,975	45,625	29,402	36,172
一般財源		72,027	58,019	55,123	51,178	70,602	68,288
執行率（％）		98.0%	98.4%	96.8%	98.4%	99.0%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			平成31年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	事業実施委託	91,129	委託料	事業実施委託	92,041	委託料	事業実施委託	95,300
報償費	実習報奨・奨励金	715	報償費	実習報奨・奨励金	851	報償費	実習報奨・奨励金	1,203

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	福祉施設から一般就労への移行者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		37	R7	目標	22	32	32	32
				実績	24	27	24	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	36	36	36	36	36	37
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	一般就労の推進を実現する。 ※第5期墨田区障害福祉計画から引用							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	すみだ障害者就労支援総合センター・就労支援登録者の離職者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		25	R7	目標	29	29	28	28
				実績	39	30	32	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	27	27	26	26	25	25
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	就労後の環境変化、生活面の新たな課題による離職を防ぐ。(就労生活の継続を図る。)							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	今後も障害者雇用促進法の改正(法定雇用率が上がる)があるため、雇用義務のある企業及び就労を希望する障害のある方のニーズは高まると考えられ、国や都、関連機関との連携が重要であり、同様の事業を23区全て実施していることから、行政が実施する必要性は極めて高いと言える。

課題・問題点
障害者雇用促進法の改正は今後も予定されているため、改正内容に沿って、墨田区の特性を勘案した効果的・効率的な事業展開をしていく必要がある。

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	すみだふれあいセンター福祉作業所事業					2
目 的	おおむね18歳以上の身体に障害がある方または知的障害をお持ちの方で一般の雇用関係に入ることが困難な方のために、作業の機会を提供するとともに、社会的自立を目指すことを目的とする。					主管課・係（担当）
						障害者福祉課 すみだふれあいセンター
						5600-2001
対 象 者	愛の手帳所持者(知的障害者福祉法第15条の4による措置を受けた方) 身体障害者手帳所持者(身体障害者福祉法第18条第1項による措置を受けた方)					
根拠法令 関連計画	障害者総合支援法(施行規則第6条) 墨田区福祉作業所条例 同条例施行規則 墨田区福祉作業所運営要綱					
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	【職員体制】常勤13、再任用4、非常勤5 【主な委託先】 施設管理:都市整美センター 給食調理:日清医療食品	
事業内容	就労継続支援B型施設 通所利用者に対し、職員指導の下、企業から受注した軽作業の履行 作業所独自の自主生産品の製作作業 通所時間は午前9時から午後3時45分まで					
経 過	開始年度	平成5年度		終了予定		
	平成5年5月	福祉作業所として事業開始				
	平成15年10月	知的障害者福祉法に基づく「知的障害者通所授産施設」に移行				
	平成21年4月	障害者自立支援法に基づく「障害者就労継続支援事業B型」に移行				
議会質問 の 状 況	[平成29年12月 区民福祉委員会] 利用者工賃支給額について [平成30年12月 区民福祉委員会] 福祉作業所の運営について					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度
予算現額（事業費）		59,665	59,918	59,942	60,986	61,764	62,163
決算額（31年度は見込み）		52,206	50,853	50,177	52,745	53,354	62,163
財 源	国						
	都						
	その他	59,665	59,918	59,613	60,768	60,563	62,163
一般財源		0	0	329	218	1,201	0
執行率（％）		87.5%	84.9%	83.7%	86.5%	86.4%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円） 事業費								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			平成 3 1 年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	非常勤職員報酬	11,224	報酬	非常勤職員報酬	11,264	報酬	非常勤職員報酬	12,104
賃金	利用者支払工賃	12,148	賃金	利用者支払工賃	11,693	賃金	利用者支払工賃	16,321
需用費	作業用消耗品	2,993	需用費	作業用消耗品	2,757	需用費	作業用消耗品	4,172
役務費	自動車運転委託	4,654	役務費	自動車運転委託	4,617	役務費	自動車運転委託	4,881
委託料	給食調理委託他	19,194	委託料	給食調理委託他	19,880	委託料	給食調理委託他	21,102

事業の成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	工賃支給延利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		14,580	R7	目標	14,580	14,580	14,580	14,580
				実績	11,870	11,024	10,777	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	H28以降、定員×おおむねの年間開所日数＝14,580(人)を目標値とする。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	工賃年間支給総額				単位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		15,120	R7	目標	12,600	12,600	12,600	12,852
				実績	10,177	12,148	11,693	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12,852	12,852	12,852	12,852	12,852	12,852
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	H31以降は、ふれあいセンター福祉作業所の過去の実績から、月21(千円)×利用者数(人)×12(か月)を年間工賃の目標値とする。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型施設である。障害者が社会的に自立して生活するためには就労支援が重要であり、通常の事業所での雇用が困難な障害者に生産活動等の機会の提供、知識及び能力の向上に必要な訓練を行う施設は必要であり、すみだふれあいセンターが果たす役割は大きい。住民サービス上、不可欠である。

課題・問題点
築25年を経過しており、公共施設マネジメントによる大規模修繕の対象となっている。

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位	
事 業 名	障害者就労支援事業費					3	
目 的	福祉的就労の場の確保し、福祉作業所に安定的・継続的な作業を創出することで、工賃の向上を図るとともに、障害者の社会参加の促進及び作業を通じた地域住民との交流を図る。					主管課・係（担当）	
						障害者福祉課庶務係	
						03-5608-6217	
対 象 者	墨田区内の福祉作業所に通所する障害者						
根拠法令 関連計画	墨田区障害者行動計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	社会福祉法人 墨田さんさん会		
事業内容	区立公園の清掃等業務を福井作業所に委託する。 ・錦糸公園内のゴミ箱付近の清掃及びゴミの分別を行う。 ・江東橋下の清掃を行う ・区立公園等において雑草除去作業を行う。 ・区立公園等において花壇の維持管理作業を行う。						
経 過	開始年度	平成13年		終了予定			
	平成12年度にモデル事業を行い、平成13年度より事業開始。 平成27年度より従来の錦糸公園清掃業務に加え、区立公園等の雑草除去業務及び花壇維持管理業務を行っている。						
議会質問 の 状 況	なし						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 年間を通して実施(委託)						

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額（事業費）		5,294	11,864	12,539	15,350	15,400	15,556
決算額（31年度は見込み）		5,294	11,860	12,537	15,350	15,400	15,556
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		5,294	11,860	12,537	15,350	15,400	15,556
執行率（％）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			平成31年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
役務費		11,720	役務費		11,770	役務費		11,892
委託料		3,630	委託料		3,630	委託料		3,664

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	業務実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		330	R7	目標	217	301	301	330
				実績	205	348	351	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	330	330	330	330	330	330
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	福祉的就労の場の拡充により、障害者の社会参加促進を図ることが出来る。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	1人当たりの平均工賃月額				単位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		42	R7	目標	42	42	42	42
				実績	37	34	39	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	42	42	42	42	42	42
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	工賃の向上により、充実した生活・生きがいを図ることが出来る。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者の福祉的就労の場を確保、工賃向上のため、今後も継続していく。

課題・問題点
受託可能な福祉作業所が増え、より多くの福祉作業所利用者の工賃向上等に反映すること。

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	亀沢のぞみの家通所訓練所補助事業					4
目 的	重度肢体不自由児(者)を対象とした障害福祉サービス「生活介護」事業を運営するNPO法人のぞみの安定したサービスの提供の確保を図る。 昼食費の一部を補助し、利用者の経済的負担を軽減する。					主管課・係（担当）
						障害者福祉課庶務係
						5608-6466
対 象 者	NPO法人のぞみ 肢体不自由児者通所訓練所 上記施設を利用する区民					
根拠法令 関連計画	墨田区重度障害者施設支援体制強化補助金交付要綱、墨田区障害者通所事業所等通所者昼食費助成事業補助金交付要綱 墨田区障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱 墨田区障害者通所事業送迎車両運行費補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤職員2名	
事業内容	活動報告書に基づき、運営費・人件費・送迎車両運行費・昼食費等の補助を実施する。					
経 過	開始年度	平成21年度		終了予定	なし	
	平成20年度までは区単独補助による運営だったが、平成21年度から障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス【生活介護】に移行した。 法内化により従来の支援職員体制が移行後の国基準により低下することのないよう、区独自の職員配置基準を定め、支援体制強化を支援している。 平成25年度からは通所者用バスの送迎事業を法人事業化し、より効率的な財政支援を進めている。					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額(事業費)		47,206	44,753	42,746	43,827	43,328	43,181
決算額(31年度は見込み)		45,584	42,870	42,399	43,462	41,522	43,181
財 源	国						
	都	31,466	10,810	10,560	11,580	10,980	10,560
	その他						
一般財源		14,118	32,060	31,839	31,882	30,542	32,621
執行率(%)		96.6%	95.8%	99.2%	99.2%	95.8%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			平成31年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	補助金	43,462	負担金補助及び交付金	補助金	41,522	負担金補助及び交付金	補助金	43,181

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	年間延べ利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		5,500	令和7年度	目標	5,088	5,512	5,500	5,500
				実績	5,389	5,243	4636	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	延べ利用者数は、一定水準の福祉サービスの提供が反映されていることの表れの一つであると思われるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	1日当たりの利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		25	令和7年度	目標	25	25	25	25
				実績	20	20	18	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	25	25	25	25	25	25
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	1日当たりの利用者数は、一定水準の福祉サービスの提供が反映されていることの表れの一つであると思われるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	最重度障害者が利用者のお大半を占める事業所においては、人件費補助による支援体制強化が不可欠であるため継続の必要がある。

課題・問題点
実態に即した適正な補助を行うため、施設の状況を注視していく。

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	亀沢のぞみの家管理運営事業					5
目 的	障害福祉サービスの提供を行っている「亀沢のぞみの家」の維持管理を行うことで、障害者の自立と社会参加の促進を図る。					主管課・係（担当）
						障害者福祉課庶務係 03-5608-6466
対 象 者	亀沢のぞみの家					
根拠法令 関連計画	墨田区心身障害者通所訓練所条例					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤職員2名、	
事業内容	・公共料金の支出 各種保守委託、清掃委託、工事委託等					
経 過	開始年度	昭和52年度		終了予定	なし	
	昭和53年12月 「亀沢のぞみの家」設立 昭和57年12月 「緑のぞみの家」設立 平成3年4月 両のぞみの家を統合し、「亀沢のぞみの家」設立					
議会質問 の 状 況	[平成28年決特] 改修計画の具体的な検討について					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額（事業費）		9,295	8,804	8,729	8,777	7,613	9,072
決算額（31年度は見込み）		8,906	8,166	8,216	8,479	7,502	9,072
財 源	国						
	都						
	その他		28	90	90	90	90
一般財源		8,906	8,138	8,126	8,389	7,412	8,982
執行率（％）		95.8%	92.8%	94.1%	96.6%	98.5%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			平成31年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	光熱費等	2,991	需用費	光熱費等	3,337	需用費	光熱費等	3,245
役務費	電話料等	1,283	役務費	電話料等	1,260	役務費	電話料等	1,468
委託料	保守委託等	2,279	委託料	保守委託等	2,270	委託料	保守委託等	2,443
使用料及び賃借料	リース料	1,258	使用料及び賃借料	リース料	540	使用料及び賃借料	リース料	472
工事請負費	補修等	668	工事請負費	補修等	95	工事請負費	補修等	1,444

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	年間延べ利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		5,500	令和7年度	目標	5,088	5,512	5,500	5,500
				実績	5,389	5,243	4,636	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	適切な維持管理の成果が反映されていることの表れの一つであると思われるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	1日当たりの利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		25	令和7年度	目標	25	25	25	25
				実績	20	20	18	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	25	25	25	25	25	25
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	適切な維持管理の成果が反映されていることの表れの一つであると思われるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害福祉サービスの提供を継続的に行うためには、建物の補修等も含め、維持管理が必要である。

課題・問題点
築後、約30年が経過している建物のため、大規模改修が必要となっている。

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	重度肢体不自由児(者)生活介護事業所運営補助事業					6
目 的	重度肢体不自由児(者)を対象とした生活介護事業所を運営する事業者に対し、運営費を補助することにより、運営の安定化を図り、障害者の社会参加を支援する。					主管課・係（担当）
						障害者福祉課庶務係
						03-5608-6466
対 象 者	社会福祉法人晴山会					
根拠法令 関連計画	墨田区障害者生活介護事業運営費補助金交付要綱、墨田区重度障害者施設支援体制強化補助金交付要綱 墨田区障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱、墨田区障害者通所事業送迎車両運行費補助金交付要綱 墨田区障害者通所事業所等通所者昼食費助成事業補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤職員2名	
事業内容	各補助要綱に沿って、運営費・人件費・送迎車両運行費・昼食費等の補助を実施する。					
経 過	開始年度	平成30年度		終了予定	なし	
	平成30年度から補助を実施					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額（事業費）						97,144	121,558
決算額（31年度は見込み）						94,719	121,558
財 源	国						
	都					3,522	4,122
	その他						
一般財源		0	0	0	0	91,197	117,436
執行率（%）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.5%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			平成31年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
				負担金補助及び交付金 補助金	94,719		負担金補助及び交付金 補助金	121,558

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	年間延べ利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		2,790	令和7年度	目標			1,490	2,240
				実績			1,217	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,240	2,240	2,240	2,420	2,790	2,790
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	延べ利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの表れの一つであると思われるため。開設後数年は利用者が定員に満たないため、定員以下の人数設定としている。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	1日当たりの利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		15	令和7年度	目標			5	12
				実績			4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	13	15	15
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	1日当たりの利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの表れの一つであると思われるため。開設後数年は利用者が定員に満たないため、定員以下の人数設定としている。。墨東特別支援学校卒業生の推移に合わせ目標設定を行う。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	最重度障害者が利用者の大半を占める事業所においては、人件費補助による支援体制強化が不可欠であるため継続の必要がある。 実態に即した適正な補助を行うため、施設の状況を注視していく。

課題・問題点
重度障害者を対象とする生活介護事業は人件費率が高くなることから、指定管理者制度による事業でないと成り立たない事業である。そのため、この事業の運営については、指定管理料に準じる規模の補助を講じることを条件に事業者を誘致した。(協定締結済み)

補 助 金 名 称	墨田区重度障害者生活介護事業所運営費補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区重度障害者生活介護事業所運営費補助金交付要綱				障害者福祉課庶務係	
補助概要	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項に規定する生活介護を実施する社会福祉法人に対し、事業所の運営に係る経費の一部を補助する。				03-5608-6466	
目 的	生活介護事業を行う事業所の安定化を支援し、もって障害者福祉の向上を図ることを目的とする。					
対 象	社会福祉法人晴山会 すみだ晴山苑クルン					
基 準	区独自基準					
補助条件	(1) 事業所運営経費補助金 交付対象事業所の運営経費のうち、建物賃借料、光熱水費、業務委託費、賃借料及び保守料について補助する。 (2) 医療体制強化補助金 交付対象事業所の運営経費のうち、嘱託医の配置に係る経費について補助する。 (3) 事業調整補助金 交付対象事業所の運営の安定化に係る経費について補助する。					
経 過	開始年度	平成３０年度	終了予定	なし		
	平成３０年度から補助を実施					
議会質問 の状況	なし					
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算額（事業費）						72,960	81,188
決算額（31年度は見込み）						73,101	81,188
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	0	0	73,101	81,188
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.2%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年間延べ利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		2,790	令和7年度	目標			1,490	2,240
				実績			1,217	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,240	2,240	2,240	2,420	2,790	2,790
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		延べ利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの表れの一つであると思われるため。 開設後数年は利用者が定員に満たないため、定員以下の人数設定としている。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	1日当たりの利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		15	令和7年度	目標			5	12
				実績			4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	13	15	15
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		1日当たりの利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの表れの一つであると思われるため。 開設後数年は利用者が定員に満たないため、定員以下の人数設定としている。。墨東特別支援学校卒業生の推移に合わせ目標設定を行う。						
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		最重度障害者が利用者の大半を占める事業所においては、人件費補助による支援体制強化が不可欠であるため継続の必要がある。 実態に即した適正な補助を行うため、施設の状況を注視していく。						

課題・問題点
重度障害者を対象とする生活介護事業は人件費率が高くなることから、指定管理者制度による事業でないと成り立たない事業である。そのため、この事業の運営については、指定管理料に準じる規模の補助を講じることを条件に事業者を誘致した。（協定締結済み）

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	障害者福祉喫茶の運営費補助					7
目 的	障害者が従事する福祉喫茶の運営費の一部補助を通じ、障害者の就労機会を確保することで、経済的自立を支援する。また、来店する地域住民とのかかわりから、ノーマライゼーションの実現を推進する。					主管課・係（担当）
						障害者福祉課庶務係 03-5608-6217
対 象 者	福祉喫茶運営団体					
根拠法令 関連計画	墨田区障害者福祉喫茶運営補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	福祉喫茶における人件費、および光熱水費の補助を行う。 【人件費】補助対象となる経費は、喫茶に従事する障害者に対して、調理主任が従事指導を行う時間を基準とする 【光熱水費】店舗の入っているすみだ生涯学習センターの指定管理制導入に伴い、31年度より喫茶運営にかかる費用の1/2 対象店舗「それいゆさんさん」（東向島2－38－7 すみだ生涯学習センター1階）					
経 過	開始年度	平成9年		終了予定		
	平成 9年 4月 事業開始 「ともだち」（運営主体：墨田区障害者団体連合会）開店。 平成12年 4月 「ともだちⅡ」（運営主体：墨田区障害者団体連合会）開店。 平成14年 1月 「それいゆさんさん」（運営主体：墨田区手をつなぐ親の会）開店。 平成19年 4月 「ともだち」「ともだちⅡ」の運営主体が特定非営利活動法人のぞみとなる。 平成24年12月 「ともだちⅡ」事業廃止。 平成30年3月 「ともだち」事業廃止。					
議会質問 の 状 況	【平成23年決特】補助金の執行状況について					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度
予算現額（事業費）		7,439	7,422	12,539	7,618	5,918	6,593
決算額（31年度は見込み）		6,763	6,649	12,537	7,098	5,189	6,593
財 源	国						
	都	3,381	3,324	3,804	3,805	3,109	3,071
	その他						
一般財源		3,382	3,325	8,733	3,293	2,080	3,522
執行率（％）		90.9%	89.6%	100.0%	93.2%	87.7%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			平成 3 1 年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金		6,782	負担金補助及び交付金		5,189	負担金補助及び交付金		6,593

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	来客者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		15,000	R7	目標	25,000	25,000	25,000	15,000
				実績	25,232	20,931	14,145	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	来客者数が、順調なコミュニケーションの機会の反映の一部であるため、指標とした。なお、基準年では店は2か所だったが、現在は1か所となったため、目標値を減とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	雇用障害者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		3	R7	目標	5	5	5	3
				実績	5	5	3	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	障害者が職員から接客指導を受ける機会が増え、また、来客である一般区民と接客を通じて交流できるため。なお、基準年では店は2か所だったが、現在は1か所となったため、目標値を減とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者の就労機会を確保するために今後も必要である。

課題・問題点
店舗数の減少により障害者雇用人数の減少

補助金名称	障害者福祉喫茶運営補助金			主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区障害者福祉喫茶運営補助金交付要綱			障害者福祉課庶務係	
補助概要	福祉喫茶における人件費、および光熱水費の補助を行う。補助対象となる経費は、喫茶に従事する障害者に対して、調理主任が従事指導を行う時間を基準とする人件費。店舗の入っているすみだ生涯学習センターの指定管理制導入に伴い、31年度より光熱水費である（かかる費用の1/2）。			03-5608-6217	
目的	障害者が従事する福祉喫茶の運営費の一部補助を通じ、障害者の就労機会を確保することで、経済的自立を支援する。				
対象	福祉喫茶運営団体				
基準	区独自基準				
補助条件	補助対象となる経費は、喫茶に従事する障害者に対して、調理主任が従事指導を行う時間を基準とする人件費と、店舗の入っているすみだ生涯学習センターの指定管理制導入に伴い、31年度より喫茶運営にかかる光熱水費である（かかる費用の1/2）。				
経過	開始年度	平成9年	終了予定		
	平成 9年 4月 事業開始 「ともだち」（運営主体：墨田区障害者団体連合会）開店。 平成12年 4月 「ともだちⅡ」（運営主体：墨田区障害者団体連合会）開店。 平成14年 1月 「それいゆさんさん」（運営主体：墨田区手をつなぐ親の会）開店。 平成19年 4月 「ともだち」「ともだちⅡ」の運営主体が特定非営利活動法人のぞみとなる。 平成24年12月 「ともだちⅡ」事業廃止。 平成30年3月 「ともだち」事業廃止。				
議会質問の状況	【平成23年決特】補助金の執行状況について				
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）				

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算額（事業費）		7,439	7,422	12,539	7,618	5,918	6,593
決算額（31年度は見込み）		6,763	6,649	12,537	7,098	5,189	6,593
財源	国						
	都	3,381	3,324	3,804	3,805	3,109	3,071
	その他						
一般財源		3,382	3,325	8,733	3,293	2,080	3,522
執行率（％）		90.9%	89.6%	100.0%	93.2%	87.7%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	来客者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		15,000	R7	目標	25,000	25,000	25,000	15,000
				実績	25,232	20,931	14,145	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	来客者数が、順調なコミュニケーションの機会の反映の一部であるため、指標とした。なお、基準年では店は2か所だったが、現在は1か所となったため、目標値を減とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	雇用障害者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		3	R7	目標	5	5	5	3
				実績	5	5	3	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
障害者が職員から接客指導を受ける機会が増え、また、来客である一般区民と接客を通じて交流できるため。なお、基準年では店は2か所だったが、現在は1か所となったため、目標値を減とした。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		障害者の就労機会を確保するために今後も必要である。						

課題・問題点
店舗の入っているすみだ生涯学習センターの指定管理者制度導入に伴う変更部分等の検討

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	すみだふれあいセンター福祉作業所通所者送迎車借上事業					8
目 的	センター利用者のうち、センターへの単独通所が困難である方に対し送迎バスを運行し、その利便を図ることによって、地域生活支援の促進を図る					主管課・係（担当）
						障害者福祉課 （すみだふれあいセンター）
						5600-2001
対 象 者	公共交通機関を利用した通所が困難な方					
根拠法令 関連計画	墨田区障害者施設通所移動支援車両運行事業実施要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	委託先：三陽自動車(株) ※運転手1名、添乗員1名	
事業内容	朝(7:30～8:30頃)、夕方(16:00～17:00頃)、利用者宅近くを待ち合わせ場所とし、バス(1台)により巡回し利用者を送迎					
経 過	開始年度	平成6年度		終了予定		
	平成6年9月：運行開始 平成8年6月：すみだふれあいセンター福祉作業所送迎バス運行要綱に基づき運行 平成21年4月：墨田区障害者施設通所移動支援車両運行事業実施要綱に基づき運行 平成27年4月：加算制度への移行により、国と都の補助金は廃止となる。					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	なし					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度
予算現額		9,964	9,964	9,964	9,021	10,692	10,937
決算額（31年度は見込み）		9,964	9,964	9,964	8,940	10,640	10,937
財 源	国	3,814	3,578				
	都	1,907	1,789				
	その他						
一般財源		4,243	4,597	9,964	10,524	10,692	10,937
執行率（％）		100.0%	100.0%	100.0%	99.1%	99.5%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			平成 3 1 年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	送迎バス運行委託	8,940	委託料	送迎バス委託	10,640	委託料	送迎バス委託	10,937

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	送迎車運行委託費				単位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		9,021	R7	目標	9,964	9,021	9,021	9,021
				実績	9,964	8,940	10,640	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9,021	9,021	9,021	9,021	9,021	9,021
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	送迎車運行委託費は、送迎手段の合理性を見る指標となり得るため、コストは可能な限り削減を目指す、安全性への配慮も必要であるためH28予算額を目標値とする。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	送迎車利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		100	R7	目標	100	100	100	100
				実績	66.8	71.5	87.2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	通所者の移動支援が目的であるため送迎車の利用率を指標とする。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	車椅子利用による利用者、加齢等による単独通所困難者の増加を鑑みると、必要かつ有効な事業であり、障害者自立の促進が図れる。

課題・問題点
障害重度化に伴う、利用者の状況に応じた対応

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	障害者虐待防止センター経費					9
目 的	障害者虐待に対する相談・通報受理、調査、障害者の保護、啓発等を実施し、障害者への虐待防止を図る					主管課・係（担当）
						障害者福祉課相談係 03-5608-6165
対 象 者	虐待を受けたと思われる障害者を発見した方、虐待を受けた障害のある方					
根拠法令 関連計画	障害者の虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律					
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤7、委託先ALSOKあんしんケアサポート(株)	
事業内容	虐待に関する通報又は届出の受理及び障害者虐待を受けた障害者の相談・保護等の支援を行っている。					
経 過	開始年度	平成24年度		終了予定		
	1 墨田区障害者虐待防止センターを設置（平成24年10月） 2 墨田区 24時間障害者虐待通報ダイヤルを開設 3 障害者虐待防止ネットワークを構築					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度
予算現額（事業費）		5,155	4,748	4,765	3,819	2,994	2,932
決算額（31年度は見込み）		4,157	3,842	4,504	2,785	2,073	2,932
財 源	国	2,104	1,384	1,338	1,270	926	950
	都		692	669	635	463	475
	その他						
一般財源		2,053	1,766	2,497	880	684	1,507
執行率（％）		80.6%	80.9%	94.5%	72.9%	69.2%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			平成 3 1 年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品費	32	需用費	消耗品費	31	需用費	消耗品費	32
役務費	回線使用料	58	役務費	回線使用料	41	役務費	回線使用料	83
委託料	業務委託	2,687	委託料	業務委託	1,889	委託料	業務委託	2,663
使用料及び賃借料	移送費	8	使用料及び賃借料	移送費	80	使用料及び賃借料	移送費	28

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	広報、啓発活動の実施（区報掲載、 パンフレット配布）				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		2	R7	目標	2	2	2	2
				実績	2	2	2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区報掲載やパンフレットの配布により、障害者本人、家族、区民へ通知ができ、虐待の防止や相談等につなげる。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	障害者虐待通報ダイヤルの相談・通報等受信件数（その他相談含む）及び障害者福祉課への虐待相談件数による虐待認定件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		0	R7	目標	4	4	4	3
				実績	2	2	3	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	2	2	1	1	0
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	被虐待障害者の保護・相談等の支援を行い、擁護をはかる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者虐待防止法の主旨に則り、継続して実施する。

課題・問題点
障害や障害のある方への理解が進み、虐待や差別がなくなる地域社会の構築が重要である。

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する。			部内優先順位	
事 業 名	心身障害者の雇用拡大を図るための施設整備助成				10	
目 的	障害のある方の雇用又は障害のある方が働く施設への生産活動等の提供を図るための施設整備等を行う事業者に対し、区がその経費の一部を助成することにより、障害のある方の雇用の促進と作業所等における生産活動等の機会拡大を図り、もって障害のある方の自立を支援することを目的とする。				主管課・係（担当）	
					障害者福祉課	
					すみだ障害者就労支援総合センター	
対 象 者	区内に事業所を有し、又は新たに有することになる中小企業事業者で、障害のある方を雇用する者、もしくは区内福祉作業所等に作業の提供を行う者。					
根拠法令 関連計画	障害者の雇用の促進と作業所等における生産活動等の機会拡大を図るための施設整備助成要綱					
実施基準		実施方法		人員体制・委託先		
事業内容	助成内容 (1) 障害者を雇用するために必要な施設の設置工事及び整備改修工事 (2) 雇用され、又は作業所等の生産活動等に従事する障害者が使用する物品の購入及びその取付工事 ※同一事業所当たり同一会計年度につき200万円を限度とする。ほかの助成制度を併用する場合は給付制限あり。					
経 過	開始年度	平成2年		終了予定		
	平成2年事業開始。平成19年度より障害者就労支援センターの事業となった。平成24年3月すみだ障害者就労支援総合センター開設により同センターの事業となった。					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額（事業費）		2,000	500	1,000	500	500	2,000
決算額（31年度は見込み）		1,627	0	497	0	0	
財 源	国						
	都	813		500			
	その他						
一般財源		814	0	-3	0	0	0
執行率（%）		81.4%	0.0%	49.7%	0.0%	0.0%	0.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			平成31年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	補助金	0	負担金補助及び交付金	補助金	0	負担金補助及び交付金	補助金	2,000

事業の 成果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	0	0	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	助成実績の推移に基づく予算措置による(上限額200万円×1件)。 令和2年度を目途に成果状況を検証し、継続の可否を検討する。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	助成企業内の障害者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	0	0	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	助成を受けた企業に雇用される障害のある方の人数 (施設整備助成の効果が反映される対象者数)							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	毎年度PR方法を工夫しているが実績がないため、更にニーズ調査をし、PRを行う。

課題・問題点
障害を理由とする住宅設備等の補助制度が国及び都に多数あるため、本制度が対象外となることが多い。

補助金 名称	心身障害者の雇用拡大を図るための施設整備助成				主管課・係（担当）	
根拠法令	障害者の雇用の促進と作業所等における生産活動等の機会拡大を図るための施設整備助成要綱				障害者福祉課 すみだ障害者就労支援総合センター	
補助概要	心身に障害のある方を雇用するために必要な施設の設置工事及び整備改善工事・心身に障害のある方が使用する備品の購入及びその取付工事。				03-5600-2004	
目的	障害のある方の雇用又は障害のある方が働く施設への生産活動等の提供を図るための施設整備等を行う事業者に対し、区がその経費の一部を助成することにより、障害のある方の雇用の促進と作業所等における生産活動等の機会拡大を図り、もって障害のある方の自立を支援することを目的とする。					
対象	区内に事業所を有し、又は新たに有することになる中小企業事業者で、障害のある方を雇用する者、もしくは区内福祉作業所等に作業の提供を行う者。					
基準						
補助条件	同一事業所当たり同一会計年度につき２００万円を限度とする。ほかの助成制度を併用する場合は給付制限あり。					
経過	開始年度	平成２年	終了予定			
	平成２年事業開始。平成１９年度より障害者就労支援センターの事業となった。平成２４年３月すみだ障害者就労支援総合センター開設により同センターの事業となった。					
議会質問 の状況	なし					
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		２６年度	２７年度	２８年度	２９年度	３０年度	３１年度
予算額（事業費）		2,000	500	1,000	500	500	2,000
決算額（31年度は見込み）		1,627	0	497	0	0	0
財源	国						
	都	813		500			
	その他						
一般財源		814	0	-3	0	0	0
執行率（％）		81.4%	0.0%	49.7%	0.0%	0.0%	0.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	0	0	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	助成実績の推移に基づく予算措置による（上限額200万円×1件）。 令和2年度を目途に成果状況を検証し、継続の可否を検討する。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	助成企業内の障害者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	0	0	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	助成を受けた企業に雇用される障害のある方の人数 （施設整備助成の効果が反映される対象者数）							
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		毎年度PR方法を工夫しているが実績がないため、更にニーズ調査をし、PRを行う。						

課題・問題点
障害を理由とする住宅設備等の補助制度が国及び都に多数あるため、本制度が対象外となることが多い。

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	作業所等経営ネットワーク支援事業					11
目 的	区内福祉作業所通所利用者の工賃アップ、勤労意欲の向上					主管課・係（担当）
						障害者福祉課 すみだふれあいセンター
						5600-2001
対 象 者	墨田区福祉作業所等ネットワークに加入福祉施設利用者					
根拠法令 関連計画	障害者総合支援法					
実施基準	都基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	委託先:(社)墨田さんさん会	
事業内容	1)障害者施設による自主生産品の共同販売を、区庁舎1階にて移動式ワゴン(スカイワゴン)により週2回(火・木曜日)実施 2)ソラマチすみだまち処での常設販売、及び例年2月の1週間、自主生産品販売企画展運営					
経 過	開始年度	平成22年度		終了予定		
	平成22年度 スカイワゴンによる週2回の共同販売開始 平成24年度 共同販売の事務局部門を外部委託(墨田さんさん会)					
	作業所等経営ネットワーク会議:概ね毎月1回開催					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) なし					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額(事業費)		4,507	4,507	4,507	4,507	4,507	4,590
決算額(31年度は見込み)		4,507	4,507	4,507	4,507	4,507	4,548
財 源	国						
	都	2,893	2,253	1,253	2,253	2,253	2,294
	その他						
一般財源		1,614	2,254	3,254	2,254	2,254	2,296
執行率(%)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.1%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			平成31年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	事務局委託経費	4,507	委託料	事務局委託経費	4,507	委託料	事務局委託経費	4,590

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	ネットワーク参加施設・団体数				単位	事業所数
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		22	R7	目標	20	22	22	22
				実績	20	21	21	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	22	22	22	22	22	22
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	ネットワーク支援事業であるため、ネットワークに参加する施設・団体の数を指標とする。区内の全施設・団体の参加を目標値とする。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	障害者への工賃還元額合計(概算)				単位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		6,900	R7	目標	5,250	5,425	5,605	5,775
				実績	5,310	5,511	5,551	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5,950	6,130	6,310	6,500	6,700	6,900
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	障害者(施設利用者)の工賃向上を目指しており、売上に占める障害者への還元額は重要な指標であるため、販売機会の拡大がなければ、毎年3%程度の伸びが妥当と考えられるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	自主生産品の販路を持たない大半の施設にとっては貴重な販売機会となっている。 区が実施することにより施設間の公平性が担保されている面がある。 また、販売額が毎年増加しており、成果をあげている。 よって、引き続き継続するとともに、更なる事業展開を図っていく必要がある。

課題・問題点
販売機会・場所の拡大 老朽化したスカイワゴン更新のあり方

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	障害者施設の新商品開発等支援事業					12
目 的	区内福祉作業所通所利用者の工賃アップ、勤労意欲の向上					主管課・係（担当）
						障害者福祉課 すみだふれあいセンター
						5600-2001
対 象 者	墨田区福祉作業所等経営ネットワークに参加している福祉施設に通う利用者					
根拠法令 関連計画	障害者総合支援法					
実施基準	都基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	委託先:(有)モアナ企画	
事業内容	福祉施設独自の自主生産品(新商品開発・パッケージ改良)の開発、製作、PR、販売を支援する。					
経 過	開始年度	平成26年度		終了予定		
	平成26年度から都の地域包括支援事業の補助を受け実施 ネットワークに参加している区内各作業所に対し調査を行い、希望する作業所に対して既存商品の改良・新商品の開発を行ってきた。 これまで、このようにして開発してきた商品群(ノベルティ等)は、「すみのわ」ブランドとして構築され、すみだ北斎美術館のミュージアムショップ、kurumiru(クルミル、都福祉保健局によるショップ)、及びすみだトリフォニーホールでの催し(財団自主事業)開催時等の機会を利用し販売してきた。					
議会質問 の 状 況	[平成29年 3月 予算特別委員会] 今後の事業展開について [平成29年 9月 区民福祉委員会] 今後の事業展開について [平成29年12月 区民福祉委員会] 自主生産品の活用(利用)について [平成30年 3月 予算特別委員会] 本事業の予算内容について [平成30年 9月 3定] 今後の事業展開について					
そ の 他 特記事項	なし					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度
予算現額（事業費）		3,000	3,500	5,500	4,000	4,000	4,873
決算額（31年度は見込み）		2,997	3,500	5,500	4,000	4,000	4,873
財 源	国						
	都		1,500	2,750	1,750	1,750	1,750
	その他						
一般財源		3,000	2,000	2,750	2,250	2,250	3,123
執行率（％）		99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			平成 3 1 年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	商品開発等委託	4,000	委託料	商品開発等委託	4,000	委託料	商品開発等委託	4,723
						報償費	販売報償費	40
						使用料及び賃借料	権利関係経費	110

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	「すみのわ」支援施設数				単 位	施設数
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		16	R7	目標	7	8	9	10
				実績	6	7	6	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	11	12	13	14	15	16
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	作業所等経営ネットワーク参加施設で、自主生産を行っている施設に対し、何らかの支援することを目指しているため、ネットワーク参加施設で自主生産を行っている全ての施設の合計を目標値とする。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	「すみのわ」開発・改良商品売上額				単 位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		3,200	R7	目標	1,100	1,200	2,500	3,200
				実績	1,092	2,422	4,237	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	利用者の工賃向上を目的としているため売り上げを指標とする。当初(H28)は、10年で売り上げの倍増を目指し、H37時に2,000(千円)を目標値としたが、H29時に2,422(千円)と目標を達成した。H30は4,237(千円)と大幅に売上額を伸ばした。今後(H31以降)の目標は、3,200(千円)とした。R2以降も3,200(千円)としたが、少なくとも予算上の自主財源額を上回る値とする。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	自主生産品の販路を持たない大半の施設にとっては貴重な販売機会となっている。 区が実施することにより施設間の公平性が担保されている面がある。 また、販売額が毎年増加しており、成果をあげている。 よって、引き続き継続するとともに、更なる事業展開を図っていく必要がある。

課題・問題点
販売機会(方法)・場所の拡大 効果的なPR方法

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	心身障害者団体連合会補助事業					13
目 的	墨田区障害者団体連合会の運営及び自主活動事業への補助を行うことで、体制が強化され、それにより社会参加しやすい環境が作られ、生きがいにつながるなど障害者福祉の向上を図る。					主管課・係（担当）
						障害者福祉課庶務係
						5608-6466
対 象 者	墨田区障害者団体連合会					
根拠法令 関連計画	墨田区障害者団体連合会補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤職員2名	
事業内容	区内唯一の障害者団体の連合体である墨田区障害者団体連合会への運営及び自主活動事業への補助を行う。					
経 過	開始年度	昭和48年度		終了予定	なし	
	補助金開始: 昭和48年度から					
議会質問 の 状 況	[平成23年決特] 補助金額について					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額（事業費）		13,745	11,433	12,809	12,792	13,492	12,617
決算額（31年度は見込み）		13,356	11,215	12,353	12,374	13,362	12,617
財 源	国						
	都	6,678	5,607	5,716	6,396	6,400	5,716
	その他						
一般財源		6,678	5,608	6,637	5,978	6,962	6,901
執行率（%）		97.2%	98.1%	96.4%	96.7%	99.0%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			平成31年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金及び交付金	補助金	12,374	負担金及び交付金	補助金	13,362	負担金及び交付金	補助金	12,617

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	所属部会数				単位	部会
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		6	令和7年度	目標	6	6	6	6
				実績	6	6	6	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	6	6	6	6	6	6
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	連合会を構成する各障害者部会の活動の活発化を支援するため、所属部会の数を指標とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	会員数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		428	令和7年度	目標	420	420	420	425
				実績	417	388	387	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	425	425	428	428	428	428
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	加入人数の増加が、事業成果や認知度の向上を示すため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	連合会の運営が安定的になり、地域交流事業が活発化している。 自主財源として自販機収入があり、部会活動費に活用しているため、補助額を抑えられている。 毎年、連合会からの要望を受け、補助内容を精査していく。

課題・問題点
自主財源の確保・活用について。

補 助 金 名 称	墨田区障害者団体連合会補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区障害者団体連合会補助金交付要綱				障害者福祉課庶務係	
補助概要	墨田区障害者団体連合会の運営費等について補助を実施する。				5608-6466	
目 的	墨田区障害者団体連合会の運営及び自主活動事業への補助を通じ障害者福祉の向上を図る。					
対 象	墨田区障害者団体連合会					
基 準	区独自基準					
補助条件	連合会の運営に必要な経費及び連合会が主催する心身障害者のためのレクリエーション活動、社会適応訓練事業、地域交流行事及び区長が特に必要と認める事業に支出する。					
経 過	開始年度	昭和48年度	終了予定	なし		
	補助金開始：昭和４８年度から					
議会質問 の状況	〔平成23年決特〕 補助金額について					
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算額（事業費）		13,745	11,433	12,809	12,792	13,492	12,617
決算額（31年度は見込み）		13,356	11,215	12,353	12,374	13,362	12,617
財源	国						
	都	6,678	5,607	5,716	6,396	6,400	5,716
	その他						
一般財源		6,678	5,608	6,637	5,978	6,962	6,901
執行率（％）		97.2%	98.1%	96.4%	96.7%	99.0%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	所属部会数				単 位	部会
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		6	令和7年度	目標	6	6	6	6
				実績	6	6	6	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	6	6	6	6	6	6
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	連合会を構成する各障害者部会の活動の活発化を支援するため、所属部会の数を指標とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	会員数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		428	令和7年度	目標	420	420	420	425
				実績	417	388	387	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	425	425	428	428	428	428
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	加入人数の増加が、事業成果や認知度の向上を示すため。							
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		連合会の運営が安定的になり、地域交流事業が活発化している。 自主財源として自販機収入があり、部会活動費に活用しているため、補助額を抑えられている。						

課題・問題点	
自主財源の確保・活用について。	

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	障害者差別解消法普及啓発事業					14
目 的	障害者差別解消法(平成28年施行)の主旨に基づき、障害者の差別解消に関する普及啓発を図るなど、障害の有無にかかわらず、誰もが輝いて暮らせる共生社会を構築する。					主管課・係(担当)
						障害者福祉課庶務係
						03-5608-6217
対 象 者	区民、区内事業者、区職員					
根拠法令 関連計画	障害を理由とする差別の解消の促進に関する法律(障害者差別解消法) 墨田区職員の障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領(訓令) 墨田区職員の障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領に係る留意事項(依命通達) 墨田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	平成28年に施行された障害者差別解消法の普及啓発を行うため、講演会や職員向けの研修等を実施し、一層の理解促進を図っていく。また、障害者差別解消支援地域協議会において、事例等の協議を行う。 また、平成31年4月1日施行の「墨田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」について、区報、区ホームページ等で周知を図る。					
経 過	開始年度	平成28年度		終了予定		
	平成28年4月「障害者差別解消法」施行 平成31年4月「墨田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」施行					
議会質問 の 状 況	[平成31年1定] 手話及び聾者への理解促進、情報保障(手話通訳者の設置、広報等)について					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ■他区の手話言語条例等制定状況 千代田区障害者の意思疎通に関する条例(2016/10)、江戸川区手話言語条例(2018/3)、荒川区手話言語条例(2018/7)、豊島区手話言語の普及及び障害者の多様な意思疎通の促進に関する条例(2018/12)、足立区手話言語と障がい者の意思疎通支援に関する条例(2019/3)、葛飾区手話その他コミュニケーション手段の利用促進に関する条例(2019/3)					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額(事業費)				1,740	224	381	1,959
決算額(31年度は見込み)				1,726	113	294	1,959
財 源	国			594	36		490
	都			297	18		245
	その他						
一般財源		0	0	835	59	294	1,224
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	99.2%	50.4%	77.2%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			平成31年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	37	報償費	委員謝礼	283	報償費	委員謝礼	93
需用費	点字テープ購入	6	需用費	用紙購入	11	需用費	パンフレット印刷	362
委託料	手話通訳委託	8				役務費	点訳委託	71
備品購入費	点字ラベラー購入	62				委託料	遠隔手話委託	1,124
						使用料及び賃借料	タブレットリース	309

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	講演会、職員研修(職層研修での周知を含む)の開催回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		9	R7	目標	5	9	9	9
				実績	5	7	5	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	9	9	9
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	障害者差別解消法の周知・啓発のための講演会や研修を行っていくことが必要であるため。 (平成29年度以降については、人権同和・男女共同参画課が行う職員研修内での周知を含む)							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	障害者差別解消法にかかる区報掲載数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		12	R7	目標	4	4	4	12
				実績	4	9	4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	12	12	12
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	ノーマライゼーション理念を実現するためには、広く周知することが必要であると考えられるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	法の主旨に鑑み、区民、職員等への周知の必要性があるため。

課題・問題点
障害者の差別解消促進のため、関係部署及び関連団体等と連携し、様々な分野・世代に対し、あらゆる機会を捉え普及啓発を図る必要がある。

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	すみだスマイル・フェスティバル事業費					15
目 的	障害者団体等の相互の親睦を深めること、また区民をはじめとする一般来場者へ向け、障害者福祉とノーマライゼーション理念の普及を目的として、障害者週間（12月3日～9日）に合わせて開催する。					主管課・係（担当）
						障害者福祉課庶務係
						5608-6217
対 象 者	区民及び一般来場者					
根拠法令 関連計画	障害者基本法（昭和45年法律第84号）					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤4、委託先：（株）アド福助	
事業内容	〈第1部〉障害者理解啓発 【日程】平成30年12月8日（土） 【会場】すみだリバーサイドホール 【内容】ワークショップ、補助犬セミナー、ボッチャ体験、原画展、手話啓発ステージ等					
	〈第2部〉 【日程】平成31年2月24日（日） 【会場】曳舟文化センター 【内容】福祉功労者及び優良事業所に対する感謝状贈呈式、参加団体による演芸等発表					
経 過	開始年度	26年度		終了予定		
	平成26年度より、障害者福祉大会と、ふれあいフェスティバルを統合して実施している。					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 平成30年度より参加団体の負担を考慮し、連日の開催から第1部（12月・リバーサイドホール）・第2部（2月・曳舟文化センター）と実施日を分けて開催している。					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額（事業費）		2,437	2,462	2,396	2,396	2,421	2,433
決算額（31年度は見込み）		2,028	2,255	2,117	2,098	1,852	2,433
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		2,028	2,255	2,117	2,098	1,852	2,433
執行率（％）		83.2%	91.6%	88.4%	87.6%	76.5%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			平成31年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	ボランティア手当	62	報償費	ボランティア手当	26	報償費	ボランティア手当	100
需用費	食糧費・消耗品	667	需用費	食糧費・消耗品	557	需用費	食糧費・消耗品	858
役務費	保険料等	66	役務費	保険料	51	役務費	保険料	100
委託料	設営費	877	委託料	設営費	826	委託料	設営費	900
使用料及び賃借料	会場料	427	使用料及び賃借料	会場料	392	使用料及び賃借料	会場料	475

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	障害のある方の参加人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		450	R7	目標	400	400	450	450
				実績	460	440	470	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	450	450	450	450	450	450
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	障害のある方自身が舞台出演者舞台出演者や運営者として従事することによって、社会参加を促すことにつながる。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	来場者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		1,300	R7	目標	1,000	1,000	1,000	1,200
				実績	1,600	1,400	1,200	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,200	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	より多くの方に来場していただくことによって、障害者福祉の啓発と障害者団体のPRにつながる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	国や都においても啓発事業は行われているが、区においても積極的に取り組む必要がある。ボランティアや障害者団体の共同・協力により、コストカットや地域社会の連携につながっている。また、来場者アンケートによると満足度も比較的高い。

課題・問題点
所期の目標に見合う盛況を達成したが、引き続き開催方法等の改善を行う必要がある。 12月の第1部について、28・29年度は観光課事業のグリーンマーケットと実施時期が重なったことにより来場者が増加した。今後も他の所管との連携等を図っていく。

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	障害者施策推進協議会事業					16
目 的	墨田区障害者行動計画等の障害者施策の推進に当たり、障害者団体代表、区議会議員及び関係機関の職員等からなる本協議会において、計画の推進状況及び策定等について協議を行う。					主管課・係（担当）
						障害者福祉課庶務係
						5608-6217
対 象 者	障害者団体の代表、学識経験者、区議会議員、関係行政機関					
根拠法令	障害者基本法第36条第4項					
関連計画	墨田区障害者施策推進協議会に関する要綱					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	・墨田区障害者行動計画推進進捗状況報告書の作成 ・毎年度推進状況を把握し、推進状況報告書を作成 ・墨田区障害者施策推進協議会の開催					
経 過	開始年度	昭和56年度		終了予定		
	昭和57年3月 墨田区障害者行動計画(昭56～平2)策定 平成3年1月 墨田区第2期障害者行動計画(平3～平12)策定 平成8年4月 第2期墨田区障害者行動計画後期計画(平3～平12)策定 平成13年3月 第3期墨田区障害者行動計画(平13～平22)策定 平成18年3月 第3期墨田区障害者行動計画(後期)(平18～平22)策定 平成19年3月 墨田区障害福祉計画策定 平成22年3月 墨田区障害福祉計画(第2期)策定 平成23年3月 第4期墨田区障害者行動計画(前期・平23～平26)策定 平成24年3月 墨田区障害福祉計画(第3期)策定 平成27年3月 第4期墨田区障害者行動計画(後期・平27～平32)・墨田区障害福祉計画(第4期・平27～平29)策定 平成30年3月 墨田区障害福祉計画(第5期・平30～令2)・墨田区障害児福祉計画(第1期・平30～令2)策定					
議会質問 の 状 況	【平成30年1定】障害のある方の個室借上住宅について 【平成30年予特】転落事故防止に向けての対応について 【平成29年4定】協議会で出された意見についてなど 【平成28年4定】協議会の議事の進め方について					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) なし					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度
予算現額（事業費）		455	272	166	392	166	167
決算額（31年度は見込み）		340	250	114	241	121	167
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		340	250	114	241	121	167
執行率（％）		74.7%	91.9%	68.7%	61.5%	72.9%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			平成 3 1 年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	委員報酬	225	報酬	委員報酬	105	報酬	委員報酬	150
役務費	郵送料	8	役務費	郵送料	8	役務費	郵送料	8
委託料	手話通訳派遣	8	委託料	手話通訳派遣	8	委託料	手話通訳派遣	9

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	開催回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	2	1	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	1	1	1	3	1
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	会議において、障害者行動計画を中心に各事業の進捗状況を確認し、協議を行うため、会議の開催回数を指標とした。10年計画(前期:4年、後期6年)であることから、策定の時期に応じて会議の開催には変動がある。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	障害者行動計画における計画通りに進んでいる事業数				単位	事業
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		132	R7	目標	132	132	132	132
				実績	146	145	143	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	132	132	132	132	132	132
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	障害者行動計画に関しては、各事業について、毎年事業評価を行っており、それぞれの事業が順調に進んでいくことが成果の一つと考えられる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者行動計画等の策定、進捗状況の確認の場として、より効率のよい体制に資するよう検討する。

課題・問題点

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位	
事 業 名	障害者アート振興事業費					17	
目 的	2020年の東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図るとともに、文化芸術活動を通じた障害のある方の社会参加促進及び障害者福祉の理解・啓発を目的とする。					主管課・係（担当）	
						障害者福祉課庶務係	
						5608-6217	
対 象 者	区内小中学校特別支援学級及び福祉作業所等、区民をはじめとするオープンワークショップ一般来場者等						
根拠法令 関連計画	第4期障害者行動計画（後期）						
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2、委託先：NPO法人エイブルアートシヤハン		
事業内容	- 区内小中学校において、訪問型ワークショップを開催 - 区内福祉作業所等において、訪問型ワークショップの開催 - ワークショップの成果物を利用したすみだ北斎美術館での展示会 - 商業施設等における成果公表の実施						
経 過	開始年度	平成28年度		終了予定	令和2年度		
	【平成28年度】すみだ北斎美術館の開館を契機とし、全国障害者アート公募展「みんな北斎」を開催						
	【平成29年度】区内小中学校でのワークショップ（計2回）、すみだ北斎美術館でのオープンワークショップ・展覧会「アニメで墨田！」を開催						
議会質問 の 状 況	【平成30年度】区内小中学校・福祉作業所等でのワークショップ（計6回）、すみだ北斎美術館でのオープンワークショップ・展示会「アニメで墨田！未来アスロン編」を開催						
	[平成28年予特]北斎アート事業について						
	[平成30年予特]事業の内容、オリンピック・パラリンピックとの関連について、今後の方向性						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)						

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額（事業費）				8,000	1,200	4,000	7,500
決算額（31年度は見込み）				8,000	1,112	4,000	7,500
財 源	国					2,662	2,420
	都				750	21	1,210
	その他						
一般財源		0	0	8,000	362	1,317	3,870
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	92.7%	100.0%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			平成31年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	事業運営委託	1,000	委託料	事業運営委託	4,000	委託料	事業運営委託	7,500
使用料及び賃借料	会場使用料	0						
需用費	消耗品費	122						

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	応募点数(作品制作参加人数)				単位	点(人)
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		200	R2	目標	800	100	100	100
				実績	1,514	106	121	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	200					
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	公募展やワークショップを契機に、初めて文化・芸術活動に取り組んだ障害者も多く、社会参加の促進・いきがいの創出を表す数値となった。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	展示会の来場者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		1,000	R2	目標	3,000	300	300	600
				実績	3,130	1,418	517	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,000					
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	多くの来場者に対し、障害者福祉の啓発を図ることができた。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区内においては、同様の事業を実施する団体等は少なく、区が実施する必要がある。

課題・問題点
東京2020参画プログラムとして、活動や作品を通して機運醸成を図るとともに、さまざまな視点から障害のある方の文化・芸術活動の支援を行う必要がある。

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位	
事 業 名	障害者理解啓発事業費（ふれあいバザー）					18	
目 的	区民をはじめ、一般来場者の障害者福祉に対する理解を深め、ノーマライゼーション理念の普及・実現を図る。また、障害者団体の活動についてアピールするとともに、障害のある方自身が従事することによって、社会参加の促進を図る。					主管課・係（担当）	
						障害者福祉課庶務係 5608-6217	
対 象 者	区民及び一般来場者						
根拠法令 関連計画	第4期障害者行動計画（後期）						
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2、委託先：（株）アド補助		
事業内容	「すみだまつり・こどもまつり」において「障害者団体・ふれあいバザー」を実施する。（日程：10月第1土日、会場：錦糸公園） バザー会場においては、自主生産品の販売や手作りボードによる作業風景の展示を通じて障害者団体の活動について広く区民にアピールする。						
経 過	開始年度	S56年度		終了予定			
	昭和56年から事業実施 「すみだまつり・こどもまつり」に合わせ錦糸公園内で開催している。平成22年～24年は公園改修の影響で体育館内で実施した。						
議会質問 の 状 況	【平成18年予特】ふれあいバザーの取り組みについて						
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 関連部署：文化芸術振興課						

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額（事業費）		414	414	414	414	414	402
決算額（31年度は見込み）		408	408	408	408	395	402
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		408	408	408	408	395	402
執行率（％）		98.6%	98.6%	98.6%	98.6%	95.4%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			平成31年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	事業運営委託	408	委託料	事業運営委託	395	委託料	事業運営委託	402

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	参加団体数				単位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		9	R7	目標	9	9	9	9
				実績	7	7	7	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	9	9	9
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	多くの団体が参加することで、障害者の社会参加の場の拡充につながる。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	売上総数				単位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		900	R7	目標	900	900	900	900
				実績	739	616	424	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	900	900	900	900	900	900
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	大規模な区民行事での開催であり、参加団体の工賃向上や活動費用の充実のために有効である。来場者への啓発の面でも効果が高い。

課題・問題点
参加団体の周知・選定方法について、検討の余地がある。

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	障害者余暇活動支援事業費					19
目 的	障害者を対象とした余暇活動を実施する団体に対し、その経費の一部を補助することにより、障害者の休日等の余暇活動の場を確保する。					主管課・係（担当）
						障害者福祉課庶務係
						03-5608-6217
対 象 者	余暇活動運営団体					
根拠法令 関連計画	墨田区障害者余暇活動支援事業補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	各団体に対する人件費及び会場使用料の一部補助。 ・チームひまわりっ子 ・ダンスサークル・ダンスさんさん					
経 過	開始年度	平成29年		終了予定		
	チームひまわりっ子が、会員の年齢上昇に伴い障害児日中活動事業補助の対象とならなくなることを受け、新たな補助の仕組みとして事業を開始した。 また、東京都においては、平成28年度から包括補助事業の新規メニュー「青年・成人期の余暇活動等支援事業」を実施しており、本事業はこのメニューを活用している。					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) なし					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額（事業費）					1,242	1,115	1,145
決算額（31年度は見込み）					1,057	1,094	1,145
財 源	国						
	都				533	557	572
	その他						
一般財源		0	0	0	524	537	573
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	85.1%	98.1%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			平成31年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金		1,057	負担金補助及び交付金		1,094	負担金補助及び交付金		1,145

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	補助対象団体数				単位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		2	R7	目標		2	2	2
				実績		2	2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区内団体が安定した活動を継続していくことが、障害者の余暇活動を支えていくうえで重要であるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	補助対象団体の延べ参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		830	R7	目標		830	830	830
				実績		836	840	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	830	830	830	830	830	830
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	参加者数が安定して推移することで区内の障害者の余暇活動支援の場を確保できる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	補助により団体の活動が活発になることで、地域のイベントへの参加の機会も増え、障害者が地域社会と関わることが可能となっている。障害者の余暇活動の場が確保され、生きがいを創出するためには、区としても実施する必要性がある。

課題・問題点
利用者のニーズと各団体の受け入れ体制のバランスは合っているか。 また、現在の補助対象団体は、任意団体であるため、団体の運営、財政状況等については、引き続き確認していく必要がある。

補 助 金 名 称	障害者余暇活動支援事業補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区障害者余暇活動支援事業補助金交付要綱				障害者福祉課庶務係	
補助概要	各団体に対する人件費補助及び会場使用料の一部補助				03-5608-6217	
目 的	障害者を対象とした余暇活動を実施する団体に対し、その経費の一部を補助することにより、障害者の休日等の余暇活動の場を確保する。					
対 象	余暇活動運営団体					
基 準	区独自基準					
補助条件	墨田区内に所在し、次の条件を満たす任意団体等に交付する。ただし、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成１７年法律第１２３号）第７７条第３項の規定に基づき行う障害者日中一時支援事業及びこれに類する法律に基づく事業を除くものとする。 (1) １月当たり２日以上活動を行うこと。 (2) 活動時間は各回２時間以上であること。					
経 過	開始年度	平成29年	終了予定			
	平成29年度事業開始 チームひまわりっ子が障害児日中活動事業補助の対象となくなることを受け、新たな補助の仕組みとして事業を開始した。また、東京都においては、平成28年度から包括補助事業の新規メニュー「青年・成人期の余暇活動等支援事業」を実施しており、本事業はこのメニューを活用している。					
議会質問 の状況	なし					
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算額（事業費）					1,242	1,115	1,145
決算額（31年度は見込み）					1,057	1,094	1,145
財源	国						
	都				533	557	572
	その他						
一般財源		0	0	0	524	537	573
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	85.1%	98.1%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助対象団体数				単 位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		2	R7	目標		2	2	2
				実績		2	2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	区内団体が安定した活動を継続していくことが、障害者の余暇活動を支えていくうえで重要であるため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	補助対象団体の延べ参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		830	R7	目標		830	830	830
				実績		836	840	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	参加者数が安定して推移することで区内の障害者の余暇活動支援の場を確保できる。							
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		補助により団体の活動が活発になることで、地域のイベントへの参加の機会も増え、障害者が地域社会と関わる事が可能となっている。障害者の余暇活動の場が確保され、生きがいを創出するためには、区としても実施する必要性がある。						

課題・問題点	
現在の補助対象団体は任意団体であるため、団体の運営、財政状況等については、引き続き確認していく必要が	

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	隅田川花火大会障害者特別観覧席開放事業					20
目 的	隅田川花火大会の実施に伴い、障害者特別観覧席を設け、区民行事への障害者の参加を促進し、障害者の福祉の向上を図る。					主管課・係（担当）
						障害者福祉課庶務係
						5608-6217
対 象 者	区内在住で障害のある方及び介助者					
根拠法令 関連計画	第4期障害者行動計画（後期）					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2、委託先：（株）アド補助	
事業内容	桜橋デッキスクウェアに障害者特別観覧席を設け、墨田区障害者団体連合会会員及び一般申込者を招待する。会場には、医師・看護師・手話通訳者を待機させる。例年定員を上回る応募があり、抽選で参加者を決定している。					
経 過	開始年度	H4年度		終了予定		
	平成4年から事業実施 会場付近は大変な混雑であること、立ち止まっただけの観覧が禁止されていること等から、障害者にとっては危険な環境であるため、障害者に配慮した安全な観覧席を確保することは重要である。					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 関連部署：文化芸術振興課					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度
予算現額（事業費）		72	72	71	89	72	72
決算額（31年度は見込み）		70	71	70	69	70	72
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		70	71	70	69	70	72
執行率（％）		97.2%	98.6%	98.6%	77.5%	97.2%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			平成 3 1 年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	謝礼	68	報償費	謝礼	68	報償費	謝礼	68
需用費	消耗品費	2	需用費	消耗品費	2	需用費	消耗品費	4

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	応募数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		9	R7	目標	75	75	75	75
				実績	99	82	84	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	75	75	75	75	75	75
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	障害者及びその家族の区民行事への参加意欲を把握することが出来る。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		250	R7	目標	250	250	230	250
				実績	263	256	202	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	230	250	230	250	230	250
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	隔年で会場規模が変わるため、目標数値に変化が生じている。 現状の開催方法で、参加者の安全を確保できる数値である							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区の一大イベントである花火大会に障害者が安全に参加できるよう配慮することは、ノーマライゼーションや障害者差別解消法等の観点からも重要である。

課題・問題点
より多くの障害者に対し周知を行い、参加意欲を高め実施していく。

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する			部内優先順位
事 業 名	障害者福祉功労者等顕彰事業				21
目 的	雇用優良事業所・自立生活者・自立支援功労者に対し、感謝状・記念品を贈呈し、その実績・功績を広く周知することで障害者福祉の一層の進展を図る。				主管課・係（担当）
					障害者福祉課庶務係 5608-6217
対 象 者	区民及び区内事業所				
根拠法令 関連計画	墨田区障害者雇用優良事業所感謝状贈呈要綱 墨田区障害者福祉功労者感謝状等贈呈要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2、委託先：(株)アド補助
事業内容	【表彰式の開催】 目的及び法令に沿う雇用優良事業所・自立生活者・自立支援功労者に対し、「すみだスマイル・フェスティバル第2部：表彰式」において感謝状・記念品を贈呈し、その実績・功績を広く周知することで、障害者福祉の一層の進展を図る。 ・雇用優良事業所 障害者雇用に深い理解を有し、その雇用に顕著な実績のある事業所に感謝状を贈呈し、その実績を広く周知することによって、区内事業所への障害者雇用の一層の促進を図る。 ・自立生活者・自立支援功労者 現在、自立生活をして他の障害者の規範となる活躍をしている障害のある方（＝自立生活者）及び障害福祉に携わり、その援護と社会的自立のため貢献した者（＝自立支援功労者）に対し、その努力を顕彰するとともに広く区民に紹介する。				
経 過	開始年度	S51年度		終了予定	
	昭和60年度から実施 平成14年度からは障害者福祉大会において顕彰 平成26年度からは福祉大会とふれあいフェスティバルを統合して、スマイル・フェスティバルにおいて顕彰				
議会質問 の 状 況	[平成29年1定]平成26年以降表彰企業がないことについて。				
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 平成30年度は該当者なし				

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額（事業費）		73	73	76	76	85	85
決算額（31年度は見込み）		73	73	70	74	0	85
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		73	73	70	74	0	85
執行率（％）		100.0%	100.0%	92.1%	97.4%	0.0%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			平成31年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品費	74	需用費	消耗品費	0	需用費	消耗品費	85

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	表彰対象者及び事業所数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		5	R7	目標	5	5	5	5
				実績	5	4	0	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	5	5	5	5	5
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	障害者福祉の模範となる障害者自立生活者、障害者自立支援者、障害者雇用優良事業所を選定することで障害者福祉向上への意欲が高まる。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	参加人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		1,100	R7	目標	1,050	1,050	1,050	1,050
				実績	950	900	0	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,050	1,050	1,050	1,075	1,075	1,100
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	大勢の参加者が見込まれるスマイル、フェスティバルにおいて本事業を実施することで、福祉功労者・障害者雇用優良事業所共に一定数の推薦がある。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	スマイルフェスティバルの壇上で表彰を行うことで、広く周知することができ、経費の削減も図られる。平成30年度は該当がなかったが、今後も引き続き、障害者団体連合会と連携をとり、本事業を実施する。

課題・問題点

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	墨田福祉作業所事業					22
目 的	一般就労が困難な障害者に就労の機会を提供するとともに生産活動等の作業を通して、知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、自立支援及び指導を行う。					主管課・係（担当）
						障害者福祉課庶務係
						5608-6217
対 象 者	就労継続支援B型の施設サービスについて支給決定を受けた方で、1人で通所することができ、作業能力があるか、見込のある方。（平成30年4月1日現在57名）					
根拠法令	障害者総合支援法第5条第1項					
関連計画	墨田区福祉作業所条例、同条例施行規則、同運営要綱					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤8、再任用3、非常勤9	
事業内容	指導（支援） 作業（工賃支給）生活・生活・保険・就労相談 福利厚生 給食、交通費支給、被服貸与、健康診断・健康相談等					
経 過	開始年度	昭和53年		終了予定	平成30年	
	昭和53年6月 東京都立の福祉作業所として開設 昭和55年3月 都区間の事務移管により、墨田区の福祉作業所として発足 平成21年 障害者自立支援法に基づく就労継続支援B型施設となる。 平成31年3月 閉所					
議会質問 の 状 況	【平成30年4定】廃止に当たっての問題について					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 平成31年3月末をもって閉所。					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度
予算現額（事業費）		50,873	53,108	52,446	49,066	32,996	
決算額（31年度は見込み）		44,798	46,023	41,150	44,418	29,586	
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		44,798	46,023	41,150	44,418	29,586	0
執行率（％）		88.1%	86.7%	78.5%	90.5%	89.7%	#DIV/0!

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			平成 3 1 年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
賃金	利用者工賃	13,418	賃金	利用者工賃	14,837			
需用費	賄い	6,234	需用費	賄い	5,740			
委託料	宿泊訓練	1,613	委託料	宿泊訓練	1,678			
使用料及び賃借料	自動車運転委託	5,697	使用料及び賃借料	自動車運転委託	5,598			
負担金補助及び交付金	利用者用交通費	1,033	負担金補助及び交付金	利用者用交通費	836			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	工賃支給延べ人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		14,400	30	目標	14,400	14,400	14,400	
				実績	12,602	12,980	12,418	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(選定理由) 墨田福祉作業所定員60名の利用者が毎月工賃を受給できるとみなした。 (目標値の利用) 入所者が全員入所できるとした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	工賃支給総額				単位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		15,120	30	目標	15,120	15,120	15,880	
				実績	10,990	11,695	12,004	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	受託加工作業収益(官公需含む)及び自主生産販売収入が、利用者の工賃となる。最近の受注動向は、少量かつ多品種発注で単価も安く、大口かつ単価の高い作業の受注はなくなってきている。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
廃止を検討	墨田福祉作業所は、平成30年度末をもって廃止となる。平成31年4月から墨田福祉作業所利用者は、社会福祉法人さんさんが運営する「喜楽里(きらり)すみだ工房(墨田区東向島3-34-4)」に移行した。

課題・問題点
当該施設の老朽化

施 策	442	障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				部内優先順位
事 業 名	障害者就労継続支援事業所・施設整備支援事業					23
目 的	老朽化した区立福祉作業所2施設の廃止に伴う後継施設整備を行う。					主管課・係（担当）
						障害者福祉課庶務係
						03-5608-6466
対 象 者	施設整備・運営事業者					
根拠法令 関連計画	墨田区基本計画における主要な公共施設整備事業					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤職員2名	
事業内容	障害者就労継続支援事業所整備運営事業者を公募し、施設整備にかかる費用の一部を補助する。					
経 過	開始年度	平成27年度		終了予定	平成30年度	
	平成28年度 事業者公募、協定締結 平成29年度 設計、工事着工（解工事・新築工事）、解体工事費補助、新築工事費補助 平成30年度 新築工事補助、工事竣工、事業引継ぎ 平成31年度 開所					
議会質問 の 状 況	[平成30年決特] 施設の交通安全対策について [平成30年4定] 墨田福祉作業所の廃止について					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算現額（事業費）		0	180,914	2,200	178,800	162,000	0
決算額（31年度は見込み）		0	180,914	2,111	178,200	162,000	0
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	180,914	2,111	178,200	162,000	0
執行率（％）		#DIV/0!	100.0%	96.0%	99.7%	100.0%	#DIV/0!

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			平成31年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	補助金	178,200	負担金補助及び交付金	補助金	162,000			

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	事業者の決定				単位	事業者
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		1	平成28年度	目標	1	-	-	-
				実績	1	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-	-
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	施設整備・運営を行う事業者を公募し、決定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	施設の開設				単位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		2	令和元年度	目標	1	1	1	2
				実績	1	1	1	2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-	-
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	平成28年度に厚生会館の後継事業所として空ゆけ未来公房を開設した。 平成31年度に福祉作業所の後継事業所として喜楽里すみだ工房を開設した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
廃止を検討	平成30年度事業終了

課題・問題点

補 助 金 名 称	障害者就労継続支援施設整備事業補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区基本計画における主要な公共施設整備事業				障害者福祉課庶務係	
補助概要	老朽化した区立福祉作業所２施設の廃止に伴う後継施設整備を行う事業者に対し、施設整備にかかる費用の一部を補助する。				03-5608-6466	
目 的	老朽化した区立福祉作業所２施設の廃止に伴う後継施設整備を行う。					
対 象	施設整備を行う事業者					
基 準	区独自基準					
補助条件	（１）施設整備費 ① 設計費補助・・・補助対象経費×補助率（３／４） ② 新規施設整備費補助・・・補助対象経費×補助率（３／４） ※ ただし、①設計費補助と②新規施設整備費補助の補助対象経費の上限は、合算額で３億６，０００万円。 ③ 既存建物解体補助 補助対象経費×補助率（１０／１０） ※ ただし、③既存建物解体補助の補助対象経費は区が提示する契約マニュアルに準拠した方法で選定する解体工事事業者との契約金額。					
経 過	開始年度	平成28年度	終了予定	平成30年度		
	平成28年度 事業者公募 平成29年度 解体工事費補助、新築工事費補助 平成30年度 新築工事補助（事業終了）					
議会質問 の状況	なし					
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		２６年度	２７年度	２８年度	２９年度	３０年度	３１年度
予算額（事業費）			180,000	0	178,800	162,000	
決算額（31年度は見込み）			180,000	0	178,200	162,000	
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	180,000	0	178,200	162,000	0
執行率（％）		#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!	99.7%	100.0%	#DIV/0!

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	事業者の公募				単 位	事業者
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		1	平成28年度	目標	1	-	-	-
				実績	1	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-	-
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		施設整備・運営を行う事業者を公募し、決定した。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	施設の開設				単 位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		2	令和元年度	目標	1	1	1	2
				実績	1	1	1	2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-	-
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		平成２８年度に厚生会館の後継事業所として空ゆけ未来公房を開設した。 平成３１年度に福祉作業所の後継事業所として喜楽里すみだ工房を開設した。						
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
廃止を検討		平成３０年度事業終了						

課題・問題点	